

流域

だより

第

2020.11

23

号

寄稿

羽東川・波豆川のために、
今私たちができること

高平地区水質保全推進協議会

会長

森本充

私たちの住む高平地区は、三田市の東部に位置し、
北摂の山並みや田園の広がる自然豊かな地域です。

まちを南北に流れる「羽東川」「波豆川」には、トンボやホタル、さらには国の特別天然記念物
指定のオオサンショウウオなど様々な生き物が住んでおり、やがてこの清流は、神戸市の水源と
なる千苺貯水源地へと流れていきます。



発行

神戸市水道局 計画調整課

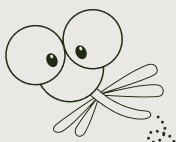
神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL (078) 322-0235

【羽東川・波豆川 流域水質保全協議会】

三田市、宝塚市を流れる羽東川と波豆川は、
神戸市の水源である千苺貯水池に流れ込む河川です。

本協議会は、両河川の水質保全を目的として、
流域の住民と三田・宝塚・神戸の3市で協力・連携しながら、様々な事業を行なっています。



この「羽東川」「波豆川」の良好な水質や流域周辺の環境を次世代を担う子供達に残していくた
めにも、平成4年に「高平地区水質保全推進協議会」を発足し、14区の自治会ごとに、農業用
排水路の泥上げ作業、川に生い茂った葦などを刈り取る川切の作業、河川の周辺をパトロールし
て、ごみの回収を行うなど一年を通して、様々な活動を行っています。また、千苺貯水源地のク
リーン活動や先進的な水質保全活動をされている地域への現地視察
を行うなど常に高い意識を持って取り組んでいます。本年は、新型
コロナウイルス感染症により例年通りの活動を行うのは難しい状況
ですが、感染拡大の対策をとり、行える範囲で取り組んでおります。
これからも、「羽東川」「波豆川」とともに、私たちの活動に、皆
様の深いご理解と温かいご協力をよろしくお願い致します。

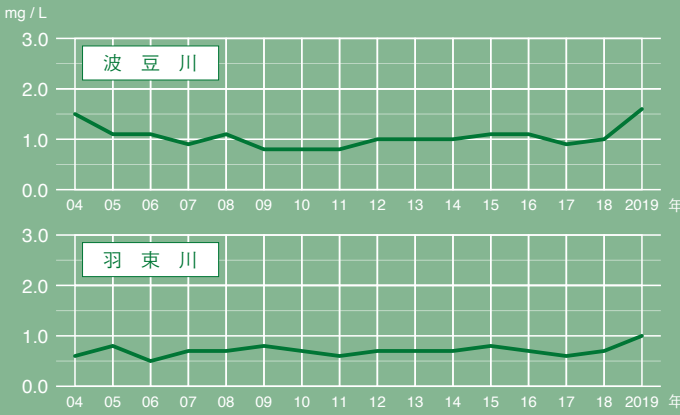


水
質
情
報

※水質に関する値は、計測日の天候等の状況に影響されます。

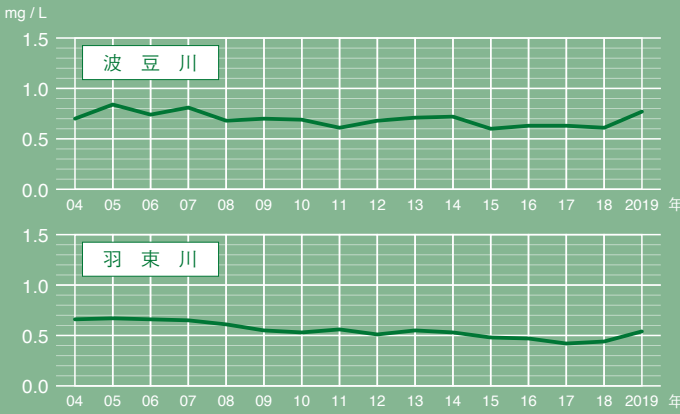
B O D

BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水中の有機物等が微生物によって分解される際に必要な酸素量のことです。BODが高いと、水中の有機物が多いことになります。



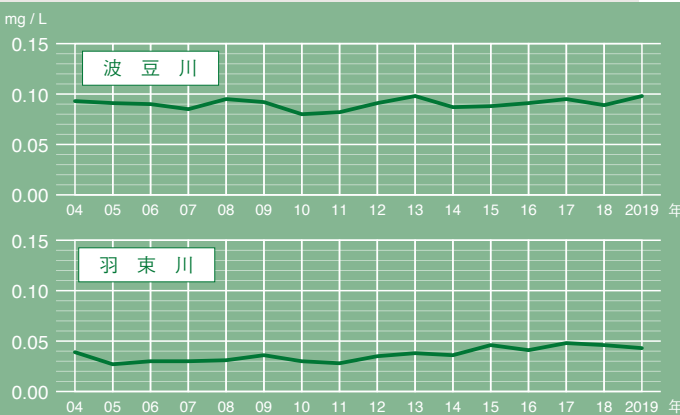
全 窒 素

全窒素とは、アンモニアや亜硝酸、硝酸など窒素化合物に含まれる窒素の総量のことです。全窒素が増えると、植物性プランクトン等が増加し、かび臭の発生原因にもなります。



全 リ ン

全リンとは、リン酸などリン化合物に含まれるリンの総量のことです。全リンが増えると、植物性プランクトン等が増加し、かび臭の発生原因にもなります。



！

今年度のイベントについて

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により羽東川・波豆川流域水質保全協議会のイベントが開催できない状況です。来年度以降、またイベントが再開できる状況になった際には、皆様からの参加のご応募を心よりお待ちしております。

オオサンショウウオ

学名：Andrias japonicus

○ 両生類

○ 有尾目 オオサンショウウオ科

全長100cm。夜行性で、昼間は岩や岸のくぼみに潜んでいます。大きな口で近くにやってきた魚などを水と一緒に吸い込むように食べてしまいます。皮膚から山椒のような刺激臭を出すことからこの名がつけました。「特別天然記念物」に指定されており、捕獲することはもちろん、許可された人以外は手を触れることもできません。近年、放流された中国産サンショウウオとの交雑が問題になっています。



かつては、食用として用いられていました（今は食べてはダメです）

川岸にある横穴や大きな岩の下が住処

「ハンザキ」とも呼ばれています

夜行性です

共食いすることもあります

小さくてすどい歯

大きいお口

つぶらな瞳

後足の指は5本

西日本が生息地

羽束川にいます

前足の指は4本

かなり長生き 70年以上生きるモノも

世界最大の両生類 最大で150センチほどに育つ場合も

羽束川の三田市野外活動センター付近は、水が透明で冷たく、いかにも溪流の様です。しかしこの溪谷の上流には田畑があり里山の風景が広がっています。ここでは少し汚れた水が流入するのですが、小柿溪谷を流れるうちに浄化され、きれいになっていきます。一般に、水が一番きれいな場所にたくさんの生き物がすんでいるように思われがちなのですが、透明で水温が低い水には栄養分が少ないため、案外、生き物の種類は少ないのです。実際に調べてみると、羽束川でも「ややきれい」な場所に多くの種類の生き物が住んでいます。ホタルやアユなどきれいな水の代名詞になっている生き物も実は「ややきれい」な場所に多く生息しているのです。「ややきれい」な場所には、オオサンショウウオも多数生息しています。このオオサンショウウオは生態系の頂点にあり、森の落葉→草食性水生昆虫→雑食性の小魚やエビ・カニ類→オオサンショウウオというように食う食われるの関係でつながっています（実際はもっと複雑ですが）。オオサンショウウオが生息するということは水がきれいというだけでなく、それにつながる多くの生物が生きているということです。このように多くの種類の生き物がすんでいることを「生物多様性」といいます。この羽束川の「生物多様性」を是非とも大切に守っていきましょう。

羽束川には、
特別天然記念物が！
住んでいる！